

浜松まちなかにぎわい協議会が考えていること

「話題沸騰！まるたま市」取材レポート



11月9日、10日と浜松着町の各所でにぎわい協議会が運営に関わる、まるたま市実行委員会主催の雑貨市「まるたま市」が開催され、会場は60店以上の出店者と多くの来場者で賑わった。まちの複数の場所で展開された今回のイベントは、まちなかに新しい回遊性をもたらし、その可能性を感じさせた。出店作家の一人、しゃからろうそくさんは、「面白かったです。店舗を皆で作って、ガラス張りということもあって人から見てもらえるし、作家も個性がある人が集まったので。全体としても活気があって、普段からこのような場所がまちなかにあって人が来てくれればいいと思います。」と手応えを口にし、継続開催へ意欲を見せた。次回は来年4月開催が決まっているという。継続的な開催と段階的に育っていく雑貨をきっかけにした新しいまちの動きにむけて、今から楽しみだ。

まるたま市 着町マップ

ゆりの木通り



野外会場 (エコパーク東側)



野外会場 (丸喜屋商店東向かい)



着町公会堂 (メイン会場)



にぎわいをみせる当日の着町



サテライト会場

サテライト会場では、テナントスペースまるごと一室を使い、五組の作家と建築家が協働して空間を作り上げ、テナント出店の次のステップとしてのテナント利用のイメージを实践した。建築家金子敦史さんによる空間デザインは細かな木の端材を床に敷き詰め、小さな地形を室内に作り出している。作家の作品はその丘にちりばめられた。▼



サテライト会場内

次回開催の問い合わせ
 まるたま市実行委員会
 053-459-4320 / marutamaichi@gmail.com

